

平成 24 年度事業報告書

平成 24 年 7 月 1 日から平成 25 年 6 月 30 日まで

特定非営利活動法人 カーボンシンク

1 事業実施方針

「カーボンシンクが生み出した“つながり”」

過去の実績を振り返ると、カーボンシンクは多くの事業において、様々な“つながり”を生み出してきた。ミッションである「低炭素社会の実現」に向けて、さらに多様かつ有効な“つながり”を見出し、事業化することを目指した。

「新たなテーマへの展開」

滋賀県や県内企業団体が重要テーマに掲げる「水分野」においては、企業シーズと現地ニーズのマッチングが必要不可欠であり、カーボンシンクが新たな役割を得る可能性が高い。

平成 24 年度は、低炭素社会の実現に向けた、CO2 削減・省エネに続く新たな重点テーマとして「水・湖沼」に着目し、①適正技術・中間技術のものづくり、②コミュニティ開発による地域自立などを実現すべく、県内企業との協働によるプロダクツづくりに着手した。

「新たな活動を見出すこと、知名度を拡大すること」

昨年度に示した方向性を継続し、「持続可能な社会づくりに向けた課題や将来像を共有する機会を増やすなかで、カーボンシンクの新たな活動方針を見出す」並びに「ホームページ、省エネガイド等のツールを活かし、情報発信に努め、カーボンシンクの知名度拡大を目指す」ため、Motto エミコロジーを中心とした事業を進めた。

「事務局体制の再構築」

事業の円滑な実施には、事務局体制の再構築が不可欠である。一方で、早期の人材確保は難しいことから、各事業においては、作業の分担や部分委託などによる対応を検討しつつ進める必要がある。

2 事業の実施に関する事項

(1) 総会・理事会・ミーティング・事務局活動など

【総会】

○第 6 回総会

平成 24 年 9 月 28 日（金）草津市まちづくりセンター307 出席：5 名 書面評決者：9 名
議題：役員選任、運営方針について など

【理事会】

○第 9 回理事会

平成 24 年 9 月 28 日（金）草津市まちづくりセンター 出席理事：4 名 書面評決者：1 名 事務局：1 名
議題：理事交代・選任、定款改定、平成 23 年度事業報告、平成 24 年度事業計画 など

【ミーティング】

○平成 24 年 3 月 15 日（木）草津市まちづくりセンター 出席会員：7 名

議題：メンバーの近況報告、事業進捗状況など

【その他】

- 定款変更事務 平成 25 年 1 月 18 日（金）
- 退会手続き「一般社団法人 滋賀経済産業協会」平成 24 年度をもって退会
- 入会手続き「公益社団法人 滋賀県環境保全協会」平成 25 年度から入会
- 活動発表「滋賀ポテンシャルを海外で活かす～協働による BOP ビジネス～」
近江地域活性化研究会 平成 25 年 1 月 29 日（火）
- 講演「環境活動が目指す視点や課題」
おおつ環境フォーラム設立記念フォーラム 平成 25 年 3 月 30 日（土）
- 参加「しが水環境ビジネス推進フォーラム」キックオフセミナー
滋賀県主催 平成 25 年 3 月 25 日（月）
- 参加「一般社団法人 kikito／湖東地域材循環システム協議会 総会」
平成 25 年 5 月 30 日（木）

(2) 「特定非営利活動に係る事業」

「低炭素社会実現に向けた事業の企画立案及び実施」

① 滋賀県環境保全協会との協働事業（SSBI の成果を踏まえた次の展開）

事業名：(仮称)湖沼ネットワークを生かした水環境技術の海外移転

SSBI 環境デザイン研究会の成果を生かし、滋賀県環境保全協会との協働事務局運営により、水・湖沼分野において、県内の中小企業もつ技術シーズと、途上国の現地ニーズをマッチングさせ、持続可能な技術・ものづくりに特化した事業を生み出ため、今年度は、組織づくりと事業プランを作成した。

[組織づくり]

- 水環境ビジネスワーキンググループ（公益社団法人滋賀県環境保全協会に仮事務局）

[事業プラン]

- ハノイ水環境ビジネス調査（滋賀県、株式会社日吉、(特活) カーボンシンク）

[案件発掘]

- 湖南省水環境ビジネス調査参加（滋賀県、他企業複数）
- 台南市水環境ビジネス訪問団（滋賀県、県立大学、上記ワーキンググループ）

② kikito（湖東地域材循環システム協議会）事業

事業名：(仮称)森林を活用した企業の従業員研修に関する企画・運営支援(東近江市)

kikito からの委託（東近江市の事業）をうけて、東近江市内の森林を活用した、企業研修プログラムの企画・運営、さらに募集用のリーフレットを作成した。

- カラーA4リーフレット、8頁

びわ湖の森で学ぶ社員研修 [kikito 紹介、提供プログラム（新人、3年目）など]

③ カーボンシンク版フェアトレードの企画検討

事業名：(仮称) 国内外の湖沼保全をテーマとしたコースブランディング検討

“流域住民の暮らしが湖沼を保全する”を基本理念に、持続可能なものづくりや地域の雇用、伝統や文化の継承などの視点から、フェアトレード型の事業を検討する。

今年度は、環境関係 NGO とのネットワーク構築を行った。

○交流対象となった NGO

- ・プスタコタ（インドネシアの環境 NGO、コミュニティ開発による循環型まちづくり）
- ・コペルニク（インドネシアの環境 NGO、ハイテク技術型商品を辺境地に届ける）

「低炭素社会実現に向けた市民啓発・情報提供」

④ 環境トークサロン事業「Motto エミコロジー ～暮らシンキング!～」

気づきと行動へのきっかけづくりを目的として、一般市民を対象に、テーマを設定し、気軽に参加できる「環境サロン」を行った。

○第2回実施

「ちょっとセレブなカジュアルチャリティーお茶会」

平成 25 年 3 月 20 日、参加者数 40 名、場所：ベジタリア パッションネ

⑤ 映画会事業「Motto エミコロジー ～シネマろう!～」

今年度は、企画検討に留まった。

⑥ インターネットラジオによる情報発信事業「くせになるラジオ～カーボンシンキング!～」

《事務局状況に応じて再開》

今年度は、事務局体制が整わず、再開できなかった。

⑦ ファンド事業「Motto エミコロジーファンド ～DO! ナウ～」

寄付口座を開設（名称：エミリンファンド）し、環境貢献支援を行う。寄付者には、ホームページ等を通じて事業経過を伝え、“意志あるお金”を生み出す場とした。

○平成 24 年度ファンド事業への寄付金 3 名：¥10,895-

⑧ まちづくり講座事業「ラエルくんの物語 など」

「ラエルくんの物語」後半(第7話から第12話まで)を、継続的にカーボンシンクのホームページにアップした。

(3) その他の事業

特になし

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業額(千円)
低炭素社会実現に向けた事業の企画立案及び実施	①滋賀県環境保全協会との協働事業(仮称：湖沼ネットワークを生かした水環境技術の海外移転)	通期	滋賀県内外	2名	滋賀県内8社程度	0
低炭素社会実現に向けた事業の企画立案及び実施	②kikito(湖東地域材循環システム協議会)事業	通期	滋賀県内	2名	研修参加企業東近江市など	500
	③仮称：国内外の湖沼保全をテーマとしたコーズブランディング検討	通期	国内外	1名	海外2団体	0

低炭素社会実現に向けた市民啓発・情報提供	④環境トークサロン事業「Motto エミコロジー ～暮らシンキング!～」	通期	滋賀県内	3名	一般市民 企業・自治体 NPO 等 [実費参加]	0
低炭素社会実現にむけた市民啓発・情報提供	⑤映画会事業「Motto エミコロジー ～シネマろう!～」	通期	滋賀県内	3名	一般市民 企業・自治体 NPO 等	0
低炭素社会実現に向けた市民啓発・情報提供	⑥インターネットラジオによる情報発信事業「くせになるラジオ ～カーボンシンキング!～」	通期	滋賀県内	3名	一般市民 企業・自治体 NPO 等	0
低炭素社会実現に向けた市民啓発・情報提供	⑦ファンド事業「Motto エミコロジーファンド ～DO! ナウ～」	通期	滋賀県内外	3名	一般市民 企業・自治体 NPO 等	11
低炭素社会実現に向けた市民啓発・情報提供	⑧まちづくり講座事業「ラエルくんの物語」	通期	滋賀県内外	2名	一般市民 企業・自治体 NPO 等	0